

第 2 期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）について

1 要旨

令和元年度に計画期間を満了した第 1 期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第 1 期総合戦略」という。）の総合評価結果を踏まえ、令和 2～6 年度を計画期間とする第 2 期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第 2 期総合戦略」という。）について、主に K P I の見直しによる、改定を行う。

2 これまでの経過

- | | |
|----------------|--|
| 令和 2 年 8 月 | ・ 第 1 期総合戦略総合評価書策定・公表 |
| 令和 2 年 10 月 | ・ 庁内で第 2 期総合戦略見直し作業開始 |
| 令和 2 年 12 月 | ・ 国「総合戦略 2020 改訂版」を公表 |
| 令和 3 年 1 月～2 月 | ・ 庁内検討組織である「島田市まち・ひと・しごと創生推進本部及び幹事会」を開催、改定案について協議（各 2 回開催） |

3 第 2 期総合戦略改定（案）の考え方

- ・ 新規の計画や変更があった計画、方針、概念等必要に応じて追記する。
- ・ 第 1 期総合戦略の評価結果を踏まえ、第 2 期総合戦略の K P I の見直しを行い、より取組の実態を捕捉できる指標に変更する。

※なお、新型コロナウイルス感染拡大による事業実施への影響については、今後の情勢がどのように変化していくのか不確実な中での随時修正は混乱が生じる可能性があるため、今回の見直しでは、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的な施策の変更が行われたものについては修正の対象としていない。

4 第 2 期総合戦略改定（案）の概要

① 総合戦略全体像 資料 2 - 2 参照

令和元年 11 月の島田市デジタル変革宣言に基づき「デジタルファーストの推進」を「デジタルトランスフォーメーション（D X）の推進」に修正し、「Society 5.0 の実現に向けた技術の活用」、「『地方創生 S D G s』の実現などの持続可能なまちづくり」と合わせて、基本的な考え方に横串を刺す横断的な考え方として記載した。

② 重要業績評価指標（K P I） 資料 2 - 3 参照

第 1 期総合戦略の評価結果を踏まえ、施策の実態を把握することができなかつたと判断できるものを中心に 16 項目を修正した。

< K P I 数 > 改定前・・・38 項目
改定後・・・38 項目  変更なし

< 改定の内訳 >

- 指標自体を変更したもの・・・10 項目
- 目標値を変更したもの・・・4 項目
- 新規に設定したもの・・・1 項目
- 削除したもの・・・1 項目

◆ K P I 主な変更箇所（※一部抜粋）

基本目標 1 「世界で、日本で、稼ぐ産業の創出」

	主な施策	指標名		基準値	目標値
変更	ウ 新たな付加価値による農林業で稼ぐ	改定前	新規青年就農者数（H24～累計）	10人	18人
		改定後	「実質化された人・農地プラン」に位置付けられた担い手の数	0件	240件
変更	エ 地域産業の競争力を高めて稼ぐ	改定前	新規創業者数	48人	75人
		改定後		48人	100人

基本目標 2 「島田市とつながり、住み、好きになる」

	主な施策	指標名	基準値	目標値
新規	イ シティープロモーションによるまちの魅力創造	島田市緑茶化計画の取組について知っていると感じた市民の割合	—	40.0%

基本目標 3 「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする」

	主な施策	指標名		基準値	目標値
変更	ア 出逢い、恋して、結婚する	改定前	婚姻率（人口千人当たり）（年度末現在）	3.62	4.00
		改定後	結婚支援ネットワーク加入団体の支援により成婚した組数（累計）	—	15組
変更	エ 豊かな心をもった子どもを育てる	改定前	学校が楽しい 児童	89.0%	92.0%
		改定後	自分にはよいところがあると答えた児童の割合	84.9% H30～R1 平均	基準値を上回る R2～R6 平均

基本目標 4 「水と緑に囲まれた持続可能な暮らしやすいまちづくり」

		指標名		基準値	目標値
削除	エ 効率的で、持続性の高い公共交通体系の構築	地域公共交通人口カバー率		64.4%	90.0%
変更		改定前	地域公共交通エリアカバー率	70.4%	80.0%
		改定後	新たな手段による公共交通の運行を開始した地区の数（年度末現在）	0地区	8地区

5 今後のスケジュール

令和3年3月 外部有識者会議である「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議及び金融機関会議」を開催、改定案について協議（各1回開催）
第2期総合戦略改定完了・公表